玉海追加　秋

1977
10

特
5
1977
10

玉海集追加類目錄

秋之部

初秋　一葉　七夕
秋蟬　秋雲　秋扇
秋柳　殘暑　荷飯
觀察　付施餓鬼　盆　躍
相撲　文月　家
蔦　槿　萩
萩　薄　女郎花
芭蕉　蘭　仙翁花
美人草　秋草　芦穂
虫　養　文鳥

淵鼎　鶉　秋鷹
廉　秋雷　鴈
月付肩　陶淵　十三夜　碪
九日節會　菊　蔦
文藝　紅葉
尊　木實　紅葉賦
　　雜秋

玉海集追加巻第三

初秋

晩々に成候へとも秋　不必
川秋や国原氏人の花の色　雪湖
寒き秋や海地ゝ面の霧　同
寒き秋い為ふ所ゝと知れ霧　小川氏　志真

去国はかゝる秋つゝま　羽州小淀平左氏　正氏
風流ゝと知る寒き秋や垂中ゝ立　貞室

一葉

山川ゝ一葉氏毋や坂ゝ　大津井口氏　順忠
河中ゝ一葉ゝ一葉や波車　長之
一葉氏ゝ楠ゝ男郷　秋田大窪　安信

七夕

たなばたは星をまつるや天人宴　犬井氏　重次

月夜の沖漕ぐ舟や七夕　江州彦根　宗正

ゆく舟に乗りてうしろや男女　馬渕　定好

むすぶ袖のうれしやつくづくや七夕　播州三木五百義氏　勝正

星合や梅と菊との義の袖　羽州山形板田氏　寿元

あふ星をこそ祝てやうめ云　善入

まちあふ八月や見つ過るかなつて　羽州山形月巡氏　関沙

あひの船やうらうれし海のあなの川　法宗

二星過てあつてつくづく海原　宗湖

江州にて

七夕にゆくやあつくりあつくり笠　青地氏　可教

七夕のまちくらやれ一つくれ　越後高田住矢野氏　正次

あれたまこそ八七夕のうらめしきかな　不必

ゑのしまの浦に腰掛けゐたれば　同
ゑのしまや七夕織女の　尾州曽我氏　心計
星の名は一橋の勢あまの川　結上
天の川七夕の夜ゆ　同
剣梯や七夕わたりもめられて　長之
七夕は月の光りとしら波
かりの星の入る古の舟　紀州高松氏　宣吉
星ゆかす夜の入つまやわらぬ絵　賀州金沢高田　正種

七夕の一日の七星の硯うれ　大井氏　重次
七夕はなほ毛のこまや月の額　同
あけて待や天の戸の明られて　長本
められてこぬ夕べの物やたれ　忠與
めるなりこのたびやしの河れ　尾州公計内林氏　良平
恋の童子付るやしのおもり　善八
待恋の伏七郎君のせられて　友静
組ひや世風にてわられて　惠佐

忘れぬ波迄ゑがきたれば舟　福田氏　光徒

遠風に蓋物の出無れ　大井氏　重次

ゆきめぐりや蓋物姫を忘れぬ　貞室

独住の杉垣ゑまれぬる　同

垣ゑりの杉垣ゑまれぬる　同

忘れぬよい労とや紡車　同

夕向とや七面琵琶の生るる　同

秋蟬

蟬の声の病とや秋風　法宗

秋風に蟬は吟とや怨ぬ　三信

寿命迄とよ秋蟬の声　杏奥

秋蛍

消さまのひつうい秋の嘗うれ　犬井氏　重次

秋扇

涼しさは秋よりなくられ扇　備前片上木畑　定直

今番さんとかたらひく扇　不必

追善うた

骨とかやせめのうたやれ扇　同

金風よとくすする組はれつさく　浜辺村大田氏　重勝

とかくくいもにうたれ　嘗丘

秋柳

散つくは湯ひんるや柳髮　浜彦根住岩照氏　正義

歳暮

[illegible]のうれしさの[illegible]　滋宣

[illegible]れ[illegible]つきいのうの[illegible]　同

荷飯

鯖の魚やこれらの[illegible]　京山田氏　重基

親[illegible]つくふこい飯すの[illegible]　伊勢大野窪田　正好

[illegible]食べられて[illegible]　来名住　貞[illegible]

玉祭　付施餓鬼　盆燈籠

たなくもの盆にいわひまつりけり　正信

[illegible]　勢州金沢高柳　方信

[illegible]　但州生野内海氏　[illegible]之

牌前の配膳[illegible]　[illegible]

子い親のひとりのうけつ活為魂　伊賀宝蔵村住人氏　宗明

[illegible]やうに岸つゝひゝ[illegible]舎　三信
秋の晩つゝまつ[illegible]ハせつゝ[illegible]　梅宮
泡ゝゝし人[illegible]ゝすやゝ[illegible]絶俄晩　来元
沖ゝゝゝ一さゝしの舞ゝゝゝ　京二条烏丸　常方

京の岡

万物ゝと[illegible]ゝすや[illegible]者町　大井氏　重次
まつりてや今ゝゝひゝ[illegible]心無[illegible]絶　貞室
晩の搬ゝゝゝて[illegible]を中殺俄晩　同

十五日八坂神の長日なり[illegible]

相弟子ゝゝゝゝゝゝのつゝの[illegible]ろ　同
たゝゝゝつやゝゝぜんゝの[illegible]ろ　同

躍

京中のさゝゝゝゝゝゝ本[illegible]躍　摂州今津倉谷氏　利定
ゝゝひゝや汗ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ躍　望湖

こゝろこそ竹の節なけれ　馬渕氏　定好

左殷なし搗なし躍なし　摂州上牧　元寿

猶ぶそう

りん酒は毒なれとも　不必

弱多やなく臓のうけをそう　東湖

相撲

力くらべ若り相撲の美おるけ　江州草津木村氏　重道

相撲ゆゑ武士ぶそうの美おるけ　吉野山堀内氏　閑岩

うつぶちとよりや沒し相撲　兵庫小沢　重吉

ゆまにうやうけし若相の美相撲　吉野下市百滝　正信

紅以のぶれる相撲や大ぶくし　井狩　常後

相撲ゝ力者ものや勝車　江州駒井信濃木氏　之則

ぶりとりや奮氏相撲の子　荒川氏　公芸

多ぶくぶこそ相撲や腕そう　尾州　之也

ふつのそりやうとゝのへたおすもう　河内清水　春宵
下常のやれ　おすもうやうの姿ひ　紀州熊野彩文　章年
むすひとゝのおすもうのようすはい　京山田氏　重基
氣を始終とゝのへたおすもう　京三浦氏　春香
練てとゝのおすもうのようすはいさ　大井氏　重次

文月和

天文代乃代とゝのへし文月和　摂州西宮　樹信
文つきやちくさはつゆのゆとゝろ　肥後熊本　金門
涼しさ代のそていとゝや重所　摂州今津常源寺　吾和
文月よりとゝのへ雲とゝや　山崎柴垣氏　卜琴
文月やわのこまるのすさとゝし　勢州桑名登長氏　山井
ゆとゝにとゝり時々れい
涼しさやおとゝひとゝく文月和　大井氏　重次

霧

月ぬぐふ日よりこそ霧はなし　之也

霧のまよ掃きあつめや白の月　摂州兵庫法華寺　本性

聖は霧や横ぎれる月は嵐哉　泉州加治村服部氏　貞吉

伊勢行て神の掟とりて

こそまつりて

霧ふるとひろひあつめの掟とれ　賀州大聞　金可

ひつまーきんよとれ行て

一ひろきわりやてみくや神の霧　不必

幸つの唐紙やられ行ーう

西寺かりれはたに出つく

霧のこそ西寺よりこそ萩唐　倫貞

霧紙ひすひ扇はけゆく秋なれば　大津西村氏　芳之

茶扱ーきーもんきるーう竹の霧　定好

霧

大山もとくくとみてくたりこさりの海　摂州西宮江　恵之
山ゆきの青ゆへくりやさりけく　冊州福知山内氏　重廣
塩河ゆゆへくりゆゆ紀雲乃海　惠佑

朝霧

新霧よさみす日とくしらい毒地ゆれ　越前福井　可卿
新しのつくとなるる同瞳ゆれ　越前枝川住木下氏　知宜
朝ゆゆ世ゆゆしゆ紀之雲　敦賀野沢　宗白
日代月ゆゆ紀ゆゆ方　法宗
新しゆゆ多よそうゆ　大津犬井氏　重海
ひつとりと志つむ抹宗ゆゆ　利宣

萩

風は実はあるに任せ萩の種　山崎柴垣氏　卜琴

風の作や能しやるる萩の色　同

風の寄りしくしくしく萩に花　若州平尾氏　正武

ちらしは風のつるる萩にしも　江戸　祐正

伊勢屋しくや彩の萩のうせ　犬井氏　重次

萩

見てもやいつまつるれの萩に花　尾州岩井関ゐる氏　友久

花ゐるや萩に帰のつりつら　伊負

文りまふこれ糸萩やもしくに花　春宵

山りつれ萩りそ焼ゐるく

みく

帰くしふりもや萩しく竈の下　奥室

蔦

きゝやりて是ゝそ思ひ〳〵志の蔦　紀州村松氏　恵峯

ゝゝみめう蔦や神ぬしのあ邑　金門

蔦の枝ぬ蔦ゝ山ゝ　備州安倉玄益　孝浦

垣内いゝみるつゝ神ぬ尾花ゝれ　法宗

ゝゝ蜂ハ化しゝ馬ぬ尾花　紀州野村氏　長本

女郎花

ゝゝまてゝみゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　摂州兵庫大野氏　之正妻

ゝゝゝれ庭ゝゝゝゝゝゝゝゝ　摂州兵庫秋山氏　西平

ゝゝゝ撫ゝゝゝゝゝゝゝゝ　勢州桑名伊藤氏　利富

遠善ゝ

ゝゝゝ佛の目ゝゝ善女人　丹波福知峯山氏　蒋英

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　大津久佐氏　季正

風のおとゝ世界やうり女郎花　丹波池野氏　重久

風よわゝ男氣ふきて女郎花　京三浦氏　春香

なきうゝ折るゝまてやうくし毒　河内巻田　一十

あれ池ゝけて栗とうやとんもゝ　根州三田氏　重香

なゝ菓食ゝいつゝうや栗ゝ仮　根州西宮水野氏　湯軒

なきうゝゆうやりの雪とんゝ　羽州山形　赤光

御ゝ女郎花のつけうゝ

山れゝの井ゝうゝけうや女郎花　丹波黒井　退歩

秋れ雲ゝゝゝゝゝゝゝゝ女郎花　大嶋氏　陳奥

秋の雲れゝうゝ豆ゝうゝ女郎花　犬井氏　重次

老の坂ゝいつゝ不すて女郎花

のゝうゝ女郎花

花の細ゝくゝやゝあのゝゝゝ　貞室

大江山ゝいつゝ不すて

童子ゝやゝゝれてゝゝゝ　同

なきうゝれや聖寺の鶯の郎　同

[illegible] 同

芭蕉

[illegible] 尾州 之也

[illegible] 同

蘭

[illegible] 肥後熊本清水氏 一秀

[illegible] 紀州和歌山村瀬氏 杜亭

[illegible] 大井氏 重次

[illegible] 肥後熊本宗歌氏 金門

蘭[illegible]

[illegible] 盤物り蓑畢 淫宕

仙蓮花

さく山ぶきのうつくしさ仙蓮花　不必

蓼人草

花の中より月のうつるあれ蓼人草　賀州金沢住　周元

蓼よりけるあれは緑珠ゝ蓼人草　樂志

秋草

蓼ゝ花とかうやうこれ鶏頭花　大音氏　草栖

うつくしうこんなかやしらさ鶏頭花　不必

秋のいとをてゆるゝ草　一直

月のあてゝ花やゆかしの草　徳宗

花ゝ月のうつるこんれ　和州住　顕住

芋州やみろくまつる花ざかり　法宗

本莫蕎麦作りて

炙つやとひつゝくやゝ花の影　正氏　摂州兵庫中西氏

一生あるゝ白とまれりや矢番茶　国次　江州彦根岩脇

ゆかゝ開きちらゝ吉野草花　正盛

ゝちらてとのゝゝ花やゝ分別　赤竜　江州八幡山伴氏

花や今ゝ分別ゝゝ利根茶　清次

花曇りゝいひゝとゝ地蔵　弘堂　摂州住吉西方寺

本ゝゝけとやゝゝん白菊　法宗　丹波朱田郡鳥居氏

塀のゝへとのゝや菊花　勝之

中軍の花やゝゝゝ仏　春雪

芦穂

寺磨ゝる者糸ゝとあゝのゝ　一重　肥後熊本住山氏

出

おくらんらうや出れ花ちる　勢州買市大畏　吉宅

鈴虫もうるひ松ちる事をきれ　越前福井　可卿

むしの声と消てきやいを命れ　不必

おくんやゆきうの白のくれいは　但馬豊岡住一村氏　守鶴

老耳とんくすひて

松ぞくさく耳ゆきれや出るる　賀州大稿氏　全可

雨和はよいかく寄とけれ　尾州津嶋星野氏　長重

みのむしの松をもやうるこれ　越後村上成田氏　宗友

松とおもうそくやうる出　今津　不必妹

おくむしやこれ秋の登れ草の蔭　大津若林氏　吉信

つかとりよみゆう松ちるのみ　會津森川氏　重貞

出を入むしつやひうまこれ勢　根州西宮　正則

松と芋やくくく出れ出り不　丹波鴨庄信山氏　正好

山ちのひまて中

[illegible]　貞室

蕎

[illegible]　中山氏　梅室

文月を別のたくや筆つむ　法定

筆つむ[illegible]や小藤の文[illegible]　玄鶴

[illegible]や硯の令筆つむ　犬井氏　重次

文鳥

[illegible]　摂州伊丹亞嶋氏　重紀

四十[illegible]老てなれや文十[illegible]　正氏

海鳥の帰[illegible]や[illegible]　沼今津石崎氏　可澄

ひとりは栗[illegible]枝　高野山南谷　[illegible]田

林間は酒しやあり[illegible]　金門

初秋のゆきて鄙の嶋
ちらし四家まて

ゆりあはせ苦うやうやうの初しぐれ　貞室

深鮎

さひさらとちら魚かしの鮎とれ　兒玉氏　貞則
深鮎のせうゆつやゆうの川　不必

鶉

秋風と一度はつけうつ　肥後熊本永崎氏　一重
犬りきて出すやうつの床れ　正茂

秋雷

人丸一まのうせ一遠作は
それゆくいうさてすのわ尊ふ　丹波山家　保一

鹿

春日野の鹿いく人遠よ猟師かれ　お静
角にうて猟しの傷て枯れ鹿　藤田氏　正久
そのこちよ名れついうさ紅ふ　不必
鶏やこれ鹿よいあうされ紅ふ鳥　大井氏　寛次
めれて鹿のたくれ名されふ　和列堀内氏　周岩
秋いりるさくまや鹿の奇　播列明石氏　英計
猟人よ枝ゆうれ紅ふ　貞室

秋田

くくみめう稿よくれ色員さ　大津福田氏　光徳

稲毒の虫ハ田こゝにゆゝ[illegible]
[illegible]出れ付[illegible]
[illegible]
[illegible]

秋ゆるもちらうの稲の葉　摂州会津住人　重次

ちれい稲のとのもうこ　丹州生野内海氏　花之

早稲晩稲中毒ろうれ稲の殿　摂州西宮住氏　重正

うとうつ蛍庵や稲のこのもち　周元

四家して面白ほ風吹作と

まつやくも出すや稲ふれ面白し　貞室

明月は一和とあり作て

ちいさくら菩しやうの富守　同

鷹

ちるひとく花のうやかりかれ　犬井氏　重次

ふるに井とりせてわ

ひとて

ちゆかつくれとかりかれ　利宣

ちたにあるる鷹かり天津為　高野山円蔵院　源秀

名のいかて雲井の方や女文字　長本
天りける名い梵字ようようようよう　一直
名氏数とままい知無しや文字ろう　春香
文という文字氏ちちや天津名　敦賀野沢氏　宇白
ようこそ氏天とりけりや名字れ　春育
すくない雲の字ろ天津名　但馬生野佐嶋氏　安永
ちちちちや名しいない漢字れ　本田氏　持之
唐名も赤彩ちちや秋津国　摂州西宮西蓮寺　三周

格ちちれちちのちちや小田氏名　同元
綱ちちて名氏ちちちちや猫叩氏　京湖
動章ちちちちやちちの赤仮宣　肥後熊本中嶋氏　紀宣
秋の四氏米ちちよくちちやちち丹　肥後熊本松本氏　惟庸
名氏丹ちちみいちちちちちちの　摂州西宮　光友
宣いちちせちちくちちれく天津名　大坂茨木藤氏　海永
秋の雲ちちちちとちちちちや　大井氏　重次
作ちちちちて雲いちちちちの氏　摂州今津　永章

[illegible]合金い年字[illegible]れ　但馬生野住肥氏　雪之
[illegible]れ[illegible]やい月の為の為　相州山形住藤氏　久吉
[illegible]島よりしたの形ちの[illegible]　卜琴

月

付筋定

[illegible]朝日[illegible]れ月の為　宗湖
[illegible]二日の月の為　不必

[illegible]門[illegible]の心[illegible]の月　雪貞　摂州西宮西海寺
[illegible]れ[illegible]　盛正　摂州西宮辰
[illegible]の為[illegible]の月　利宣
[illegible]の月[illegible]月　正治
[illegible]の為[illegible]の為　大津福田氏　光徳
[illegible]の為[illegible]　本興
[illegible]の為[illegible]酒家氏　利宣
[illegible]れ　紀宣

新さらさらと月やうんしれわ秋　勢州岩出住　一毛白

ひらひらと花たちまちわれや散る月　播州餅戸織其民　栄武

張り回はまりこれ栄盛い宗長

のすまひ一所にて作りて

元山成姑月雪と名付て

月成雪し沼ひて四沼ひて

出ずりへ行りまて今とりて

姑とまとのひ山わりや雪成月　滋宗

そは四いが此まとのはとれ　雪豪

山とやくとくくの世とし　完　利宣

風やうきはうとし矣家れ　山井

西稀い月しろ世とそれ　起勝院　真察

佐の氣とすそのわりや雪成月　春宵

月の満くくいとつ日すれ　結元

月の雪とそくくと空の日成　犬井氏　重次

連ものより姫とす秋よ月成　安永

あめうつよ月の暈こそ春雨
面に雲ぬぐうて月い憚なし　　新撰四位用　平良
ちぢのつくに雲ぬぐうて月の面　　長之
雲やうもむる月よいやうう色　　播州姫路池田氏　是雄
月しろぬ雲の海の海苔　　尾州名古屋住　信孝
月うぶ雲の衣いけうれ　　伊藤氏　彩留
おるよい月しぬ関遠月　　備前岡山藩士　為貞
餘しぬ作りて月はな

眺り月よりうれ雲ぬぐ月の秋　　丹波福知山内氏　月人茂
合歓の木よ月の秋やうぬ　　尾州尾張氏　之数
雨ぬらぬや雅ぬ中のよひの月　　不必
ぬ中ぬ中ぬそやのけう浦の月　　雲貞
ぶんぶうと井よ蛍の世雲月　　与州村治氏　市豊春
中中の月ものうや稲の穂　　大津馬渕氏　宣好
雲すうい人ぬ中ぬうや中の月　　備州八木中嶋氏　安成
ぬうと人月の梅ぬ中車　　羽州山形藩井氏　玄秋

出へ[illegible]

[illegible]

[illegible]

そなたに文を付てやろうい紙
命こそ世月いと惜しけれ
なりんまて命あらんは事
ちりぬして使とて
そのひのわをそれりの紙
冬朝は出ぬるとけられと
きくく伝ろうかれに
奥山に住ん今や月の糸　妙性

月をうくやめるれるしるしの文　源宗
三國伝ちるれるかれるみ　紀州南部住山内氏　正俊
みちけめる月のあるしや大男　京住大濱氏　元春
月のうはや天下義僧の彩りし　濃州竹鼻浦　一鴻
落ちるは月いと出るは源氏れ　重貞
出るり出る月やくるる號國夫人　性孤
出るはるれのるるまるる秋れ　備中松山水谷氏　幸忠
出湯伝みいるれるんの紙　万安

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋とは月にうもつやうもつ　利宣

[illegible]

[illegible]

月にて成ぬをりて

[illegible]

[illegible]宿の月　祐元

[illegible]の月　長之

月くまなやく色やはひとり　兵庫西蓮氏　一之

老ぬとつてそれなやはひとり　摂州西宮　正則

大勢のなかにしてむとり　卜琴

[illegible]なかやはひ　正則

月のうやひとりうの山用心　不必

[illegible]の矢をうち成[illegible]　勢州田田帝ア　益岡

須弥山と射こそやはのうち　栗生　法正

八月神つくし

ひとしほそいろ月のうちまれ　尾州渡邊氏　之也

つるをしいさりをすれとやまの月のうち　摂州西宮円満寺　ウト

雲ままうせ風はいえとうつ月のうち　摂州西宮住四位　重正

藪はいろはこの陰ものわれや月のうち　尾州宮計内原氏　種信

沖うつ波もやうん月のゆえ　之也

先代しるの和はあうゆうの月のうち　法州岐阜円經寺　玉柴

猿猴うそはうそやはのうち晩　信法

月のうちは大遠物うあれ　時　長本

角ものつて月はは知のうつ波　可卿

家はやうる月毛の沼やはうつ　大津若林氏　吉信

井戸はすむい停午月は蟾　英英

水はすをうわいの月の蟾うれ　賀州金沢長間氏　久重

清つつゆい月は蟾乃屋うれ　越前福井浦氏　一慶

のうる数のまつ毛うそう秋の月　江州彦根岩脇　正秀

雲ままうへ月和うまの風切　江州日野中嶋氏　吉將

為まむしうりはやうの月　尾州清水氏　独ト

雲ひくいみなせの月の樹れ　保興

播さきくのせーの月の

白成めてー

雅さきてきくのうの月作　丹波福知山士民　久重

大江山氏月や和歌の楽内侍　播州赤穂水産　尚昌

梅洲寄て舟うせ

しよ風おろーー

うぬの浪よゆくやあれの舟　越前坊川　色留

しつせなこ氏神の泉の月　久重

つこ鳴や月や西うう海の面　摂州兵庫　春木

玉津鳴ましそ月くこ作ー

御おりうれい

西成こしし月ぬこ西成　圭章

こ鳴のこ又一梅やこうの月　南都山川氏　宣易

東山やこの月の檐の井こ氏里　倫署

西こ月ぬこい風こ　長之

毎のつゝみとなれる紙屋川
まんぢやうやの月の池　大津豊田氏　宣秀
月新いまつこゝに蓮池　江州堤氏　重泰
新い鶴うくるつりの池水の月　和雅
武蔵堅て芝ぬとすちうの弓　江州野福田氏　長之
武州より西京へ　茅入

武州にて

こゝ江戸ぜんぜんの月　武州の月　資州金沢　明忠

園よ入て帰さ出れば嵐れ　尾州川名氏　友久
こゝ出てひつこむしりや和嵐　光信
月の嵐迄こゝ雲や雲路　敦賀　定利
星こゝ氏月い宮氏の嵐の邦　玉朱
蛙蛙いこゝゆく月のわすれ　河内芝山田　東宜
あれ　とい行こゝりや月の嵐　不必
こゝ月の嵐や和こゝ十里　羽州山形寺嶋氏　正次
十四ゝこゝやゝ月　可卿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

紀州和歌山高橋氏　定吉
岐阜杜原氏　景次
棋州西宮辻氏　正次
尾州曽我氏　心計
棋州西宮西海寺　和貞
和州吉野堀内氏　周岩
大津若林氏　吉信
坂倉氏　一之

濃州岐阜井上氏　秋扇
尾州　之也
敦賀　宗白
備前岡山井上氏　常忠
敦賀　宗利

[illegible]

来名荒木氏　方城

[illegible]　結上

[illegible]　法宣

[illegible]

汐川曽根大平氏　信可

[illegible]

[illegible]

平野　尚好

[illegible]　法宣

[illegible]　可秋

[illegible]　友静

[illegible]　賀上野松永氏　[illegible]

濃州岐阜加藤氏　尚的

井戸氏　重芳

今宵ひつのくらゐやるれや月の面　春澄

稲田光徳寺にて湖上風雲

ゆくゝゝや今宵ひの月のいり　玉真

月実いこゝにたれ秋雲成彩都　尾州心計内　友久

丹後國成相寺にて

ゆくゝしたちあひよこん今宵の月　兒山氏　隈光

月のこゝひこちたちにはるかな　玉真

名月やてらはまみこ氏源　卜琴

芋はかりき苔ふいこゝ月の月　大津若林氏　吉信

桂男やこゝ宵のゝ月の姿　井狩氏　常後

ちやちこたちの姿月の月　結工

ゝ月いを腰ゝ紅葉れ　同

藪こゝやひけ絵ゝ入ゝ月和　ゝ之

くゝあこゝ彩やゝ月の酒ひこゝ　玉真

名庭のやゝあこゝて作る毎

度山太彩寺ゝ小ゝ

[illegible]山ーてまし

[illegible]れい　尚昌

[illegible]秋そ[illegible]度[illegible]のよワの月

[illegible]ちすや十六夜　平野氏　[illegible]盛

[illegible]

[illegible]山すて

[illegible]やいそしの月行末　[illegible]之

十八夜くもりたれい

くもり月いくにもすすて十八夜　尾州熱田小出氏　[illegible]心

八ゝ島ゝ十六夜の月[illegible]馬　祐上

十六夜月成

月[illegible]ゝ十六夜　播州姫路西山氏　[illegible]重

月[illegible]やいそ湯ゝ十六夜　[illegible]田氏　[illegible]之

十日あまりくもりやの月のまくら　[illegible]之

たゝみのうて

月や今ゝ[illegible]尾の明ゝ[illegible]ゝ[illegible]

[illegible]の[illegible]れ[illegible]不[illegible]月の[illegible]　大津福田氏　恵作　[illegible]

[illegible]

[illegible]

大津若森氏 吉信

[illegible]

羽州山形荒木氏 青打

[illegible]

[illegible]

貞室

中宗氏めしてみやこ治氏 同

[illegible]

[illegible]

同

撰門にて異作り和

[illegible]

同

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同

海老[illegible]

[illegible]

中庭の月に蛍乃鵲りなれ　同

述懐よ

世渡りさく老ぬ行ちれぬる月　同

三年ぶりて見ぬ人ろ

ろ〳〵和

白いたくしまくしハ清ぬ見ぬ　同

橋立のうら舟ぬ行ぬ

不ぬて

恋ぬ沼ぬて〳〵ぬ月の面ぬ　同

橋立のうら舟ぬ行ぬ

月よりハ久珠や四のまつ原　同

中にうハ泊ぬ月和　同

高西の茶屋ぬて

重月い茶屋ぬ新ぬ清ぬ　同

八幡山ぬて一乗寺ぬ行て

今ぬ八月の和ぬ鳴の哀　同

毎月十五夜

みつもりのゆうべて月い宮の舟　同

これらの文珠して

立待の月よりひりもこれば　同

くもりなる東編えて

新いくさの上れ居待やこひ月毛　同

ふるこてこひ雲の月のうれ　同

あつまの人れたに

きみすらこれ名やうや門　同

六月ふすこ作り正式りて

ひつつ一作

月いこて十こちくの名武の衆　同

出そやこ月と十三そこれ演

九月十三和てこくり

て月をそうれい

月いわの雲れうこやう栗　同

ふかくうゑ牽や糟毛の駒迄　正武

雨降りや牽ぬ照日の駒迄　善入

ゆつきりと苅ぬ草も月乃駒迄　吉興

磯

出れとものあやうさや磯うつ波　伊藤氏　彩留

つくづくと網のやうなる蜑衣　宇湖

うゝとうてうこうや唐本綿　尾州上郡嵯峨氏　睦義

打ゆるして物うこうの磯うれ　長本

打ゆるしてうつ厚板の磯うれ　京渡邊　西久

久しくさいの花たゝうつ磯うれ　吉興

社頭にて

夕けて雪ふり神子の衣れ　春胥

人ゝけて和い寒ゝ風ふれ　曾立

九日節　付菊

菊の露やさらさら酒とや　超勝院　真察

菊の露のうれや酒のろこ川　兵庫法蓮寺　久重

つゆさらさらとうりもや菊の酒　本住

つゆもひらくや菊の花酒　喜多氏　英硯

数いまくめ金湯乃うきくの酒　利宣

雲すらや節供をいつもの花　結工

たたく病よ世にすくひも菊の酒　羽州山形鈴木氏　重法

すくすくいきて九月九日の菊草　亜興

九月九日のーーーーのひや菊の酒　田中氏　正伯

子代菊ーーとのうやや菊の酒　亜蓋

愁ーーーー菊草ーーー菊のさけ　利宣

久ーーー病よなーーーれてね

九月酒よりなれ九月代ーーーー

主湯より毎つゝ[illegible]れい
毎つゝ[illegible]ましの菊酒　丁軒
測よりとゝ血いさゝか菊酒　摂州今津住　善知
信濃の測とい菊酒代れ　一直
糟いたくと須ゆるれ菊の池　長之
三毎のゝ意進善の粧ぜ
たゝ毎ゝつさゝし菊酒　伯貴
花寺のその名や菊酒造酒　肥後荒瀬氏　宣統

九月八日下略よりゝ
作ゝゝゝゝゝ長命酒と
しゝゝゝれゝゝ
酌人ゝ菊酒変りに長命酒　貞室
文の尉のゝゝゝゝゝ海草　同
さゝゝゝゝ毎氣酒菊の竹ゝゝ　同
夢作るとてたゝゝゝ菊やむゝ酒　肥後荒瀬氏　宣賢
十日の菊ゝゝゝ

のそくらせて金の日に菊に酒　羽州長崎青木氏　宣章

菊

ひらつとの金う菊は和ひとし　近州辻村大田氏　重次

百寮とあらはせて古人金菊　春宵

但茅はまろや金菊に家　大井氏　重次

金やたに水流生ふる菊の家　根州伊丹巴嶋　重紀

菊や茅庭つり氣ふ流れの内　和州郡山都筑氏　安徳

東武下向の道筋中より歌の

四しきく

やうて咲んまさせる垣に菊の花　根州西宮四位　重之

衝ときうやうに菊の洞　麥英

いくせ流ふ水の菊畠　正茂

花の名はひとつとして菊の洞　賀嶋氏　尚的

たとれいろいろ菊に洞　法宗

重陽に秋さくり姫の菊　英英

百秋菊はさくやこの伏野人末　不必

ひろ蝶の秋はすりやこくの花　玉興

耳はよりて見はさくれ花の盛れ　京宗仙禅寺　虎福

なくもおのとりぬいの菊草　京松田氏　扶之

くれ家は咲や白菊の菊草　大津西村氏　寿之

黄ふれい黄石ふりさくれ草　玉峯

越後の府にて

花や世にしたがえの沼郎弟草　篠田氏　明恵

花軍はすがやくんの門こ草　金門

菊の名やまを天れこと星ふ象　重廣

こ菊といはすしつよ菊成

しせてさくれくま

こ菊りてこ菊や大般若　法宗

なくちのせくさ菊紙よつくり

菊さその名ちりたる

たちまちいひ出せる行ーと
伊豫こしの行ーんとおもひて
一二日みまもりこしまーー
ちとひくく人ぜをーーれて
よもやりて
みるとくいなとれる物成面さう草　豆見
人れ悼ーよ
結ー沼いなるこの例して葡萄　肥後熊本中嶋氏　釈宣

ちらしそよ葡やら面のつるてちよ　貞室
星いもの花まもやや米草　同

葛

赤銭の鑢ゝ杉の葛ゝちゝ　賀州大聖寺　雲留
これまでにさいつけ蛍の葛ゝ　貞室

紅葉

ちらしまは惜つゝ多紅葉　越後福王寺氏　不必
とらゝ芋れ文乃いろ多ふれ　白梳
散て文巳の字成り子や若葉　同
いろはや散めゝ庵よゝ文　可卿
朱墨りて中や山海のいろ多ゝ　勢州冨田南中氏　為村
ちれてゝひ文つけゝ赤ゝ　但州生野前田氏　國吉

町いち氏森のいろゝや大和撫　尾州　之也
杉や若子ひゝりつゝ心秋の文　重紀
詩面水や林の山色成沖料人　陳臭
山姫の織黄擢糸ゝ為ゝ　長之
文氏ゝ紅葉や引ゝ幼ゝ氏ゝ　久重
稲成ゝ山や先ゝ氏ゝ　若入
くれゝ井の吉やゝ川詩面苔　結上
つゝ氏四ゝ山ゝ氏ゝ　梅笑軒　不必

法師やまとしてうしのくるるまで　紀州粉川大伴氏　宣義
おもふて蓋をよ小の太井川　春雄

太井ちるして

太井寺の鐘ゝ　ちるしらるる　芳湖
敷山てみくやおもきの舌ゝ　梅室

物蓋きのあくしらして

こうれめやこんの蓋きこのたこゝ　利宣
ゆくさい花ゝちるやゝ　勢州佐倉藩　元寄

馬におふの枝と付くられて

鞠壷ゝこやうおふやこ面帰　芳之　丹波篠文浜酒子住中川氏
秋い帰ゝ蓋りくる山代ゝ　正屋
深俱ゝやゝてゝ花やこふおふ　源吉
秋のあくれゝれもこふおふ　菜英
売八や一蓋代内のゝ　大井氏　重次
ちくくゝい赤情給ゝ　芳之
さびもくゝ　上　ゝや敷乃おふ物　重道

紅葉焼物の所にて　筑後国米山氏　有加

栗生光のるまてはなる人
の情俗性のしるへ也

光のもとにやうーの神の祭　貞室

枝垂りの綿引くもみちかな　同

紅葉

岡ゆくもいとおもしろき橋　利宣

だとひとせゆくやさくらの枝　河昌野伊藤茂氏　正意

つゆ栗にもみちやはらの橋　武州野崎　枕友

紅葉鮒

めりたく新さくはや紅葉鮒　ゆ湖

湖さいて千入乃もみち鮒　祇州西官昌馬　白玉章

矢ごろや巨世の相見れ初紙　馬渕　宣好

赤しまにうつるやうすれ紙　不必

ゆーまちうやうしまち中の初紙　摂州兵庫　義氏　信貞

大津光徳院独吟百韻

て恵判ゆくまま

いりのうやいなてくくくくくれ紙　貞室

江州　志賀沖ちうさ雨して

初紙つうやちくくれ本志れ沖ゆ　同

草

松草の中つうやあ家れ沖ちうつ　冊州　福知山内氏　重慶

初草ハ本れ子のうちの焼子れ　三州　荻原黒野氏　忠孝

うつうあうこうけの家れこの　横州　三木福岡氏　秀正

ちつうれやちまれくつの嵐草　一直

待出せ市ふくくれのれ千草　摂州　溜住作伯氏　正次

古詠うつくしき草　紀州三田町住　友可

ひさてみよ大和こ称なる鼠草　村上氏　令敬

男郎うさうくしひとり揚　利宣

裏い切秋い草しうや鞠馬山　尾州　野双

松茸といふ草はいそ

十八のこゝ一丹れ草まれ　法宗

木實

ことうの中よひとすがるとろ　尾州　之也

くれなゐに松ことう四ゆ多樊掃　狄氏　行哲

落ゆ伏踏うみと宮くりのつ　忠孝

瓶ふうう君こくりや山椒　摂州兵庫今福氏　直昌

鉢香い赤ふの面しれみくれ　豊前宮仕住宮長　貞浪

佛舎利と稱して

つくく佛多感得の蓮れ　貞室

雜秋

秋の雨ゆゑつてみるたまの雪　肥後熊本大田氏　貞由

七月七日遊女の言葉は

文月もあの世の情い七日より　羽州山形荒木氏　吉松

文林行唐身はきらい聖

もの秋ぞ浦はて

板垣氏　重世

秋代ゆゑつまとめる稲田姫　利宣

とのりて秋ぞ稲田姫　一十

定家の胸ゆゑ月紀　利宣

智恵の海ゆゑ月の舟　法宗

江州より伊勢の海ゆゑ

比叡山ゆゑ法はけりて

志摩ゆゑ月ゆゑ法の舟　能登尾張合　狐原

さつきやみ　賀州金沢藩氏　夕世

ほとゝぎすひゆる谷のいと桑のさつきやみ

宿りて

三信

三州笠原氏　則実

ゆくすゑ　芦刀鶴とたゝらや鍛冶　芦刀

ゆくすゑやいとるの〳〵島山

江州日野　幸雪

是のゝ〳〵やつ〳〵わたり大島島

地獄の修羅みゆて

ゆくすゑの蓋し秋風　地獄　善八

大塩や小塩物しやくれの涙　美濃一宮中臣　正澄

風よりてうゝ〳〵ゝ蔦の紅葉　武蔵　友静

秋風よ岡のひゝしやゝい石榴　小田原住　志有

秋風いりてさゝものゝうつれ　重道

秋風ゝたゝてわりゝるやむりゝ腹　河内彦根住　正秀

秋ゆきてたくいも柄の蚊やり　紀宣

菊月　初ゆつ

ゝそれい

冬ながらのとりさし放置きし　犬井氏　重治

とりあつめるまま山茸のくもの　義法関下村氏　廣紀

こまとりの絵よ一山和尚の

潮出りしをして

沼島や一さんかけろ筆乃江　定好

賜りて鶴衣のめひ見られ　定義

新うるとやまうる春の汁　防州岩国住宮都宮氏　由紀

茸徳のへ湯よ

とのつゝ湯茸を粘けて茸徳れ　宮都宮大塚氏　由可

大津名泉の絵のつきりめに

粘茸氏町ゆてつくや絵のしゐ　定好

病ひよ紙衣風して

紙衣いりられて　志長

氣道とれいりてのさつ鶴る　根州平野氏　常之

頼よくなりてはくす

のゝくいひやりる

家の命をも醫術の榮點のえ　大坂井黒氏　義之

さう毎しつゝや一番の柳樽　法忘

二月醉　やはらぐ日れさくろ　松黒氏　信実

うゝとうす芭蕉ハ扇ひやしが　之也

寄ハたくうのおもふれば　勢州桑名　三恵

白酒と白れハうのすちれ　大音　苔栖

寄ゝとろいひとうれ　和州田原本住　正貞

とよろくハこれ孟のくゝりれ　則実

さうつゝよつてさろ酒の星　摂州西宮　光友

天の川やゝ鹿ゝ星月夜　棋州西宮　重正

ゝり新ハたんゝうゝ流星　越後高田之住　及汗

冊波なむしゝ時ゝれ

なとつゝしのはて今

ゝ作りゝれい

馬ゝつくなハ作つゝ秋風　貞室

岩寺善光寺梅行上人

墓一ツすて

陸奥の秋やこゝてゆ行水　同

門山伏名代民暑ーのり

なきて

かゝあるあくやゆきちの網の員　同